

淡路島からIOTAコンテストに参加

JA3AER, 荒川泰蔵

かねてから JA3AOP 杉山さんが淡路島の津名港近辺の海岸線に近い小高い丘の上に新しいシャックを作ったと伺っていたので、一度拝見したいものと思っていたところ、7月29日から30日にかけてのIOTAコンテストにマルチオペで参加するのでとお誘いがあり、これはよい機会だと30日に日帰りで参加させて頂いた。

IOTAについては在英時代(1990年代)から縁があり、IOTAダイレクトリーの日本語版の発行や、日本でのCP(チェックポイント)とそのグループの設立に関与させて頂いた。そのこともあって関ハムやハムフェアでは毎年IOTAブースを設け、CPと共にIOTAアワードの普及に協力してきた。

そのような関係でIOTAコンテストにもほぼ毎年参加してきたが、今回のようにマルチオペでの参加は初めてであった。本州からの運用ではAS-007と珍しくない番号を送らねばならないが、淡路島はAS-117であり、これもコンテストではアドバンテージになる。淡路島は大阪湾を隔てた対岸にあり、直線距離では近いのだが南海高野線、地下鉄、JR、淡路高速バスを乗り継いでの津名港までは2時間以上かかり、かなり遠く感じた。その上杉山さんのシャックまでは津名港まで車で迎えに来てもらわねばならなかった。

JA3AOP 杉山さんのシャックは自慢されるとおり素晴らしいロケーションにあった。東南に開けた海岸(海水浴場)を眼下に見下ろせ、大阪湾から大阪平野、友が島を一望できるロケーションに、4エレメントのSteppIRアンテナ等を乗せた20mもあるタワーが2基そびえていた。このアンテナは各エレメントが伸縮することにより同調を取るもので、前後はローテーターを回さずともエレメントの長さの調整で指向性を素早く反転できる優れものであった。

シャックは米国から取り寄せたトレーラーハウスで居住性は良さそうだったが、エアコンの工事が終



わっておらず、当日の炎天下では少々暑かった。しかし杉山さんの水打ちや扇風機の心遣いで快適に運用できた。このコンテストにはJA3PYC 山本さん

の他、杉山さんの職場のクラブメンバーも参加してのマルチオペであって、私が到着した2日目の昼ごろには、既に大量の得点を稼いでいた。しかし日中のコンディションはもう一つで、私の運用では得点をあまり伸ばせなかったが、このようなロケーションでの運用を大いに楽しませて頂いた。



左から JA3PYC, JA3AER, JA3AOP

昼食はポーチでよい景色を見ながら、杉山さんが準備してくれたバーベキューを皆で楽しんだ。遠路の帰宅を急いだため、コンテストの終了時間を待たずに失礼したが、最終得点は226,695点だったとのこと、上位入賞を期待するところである。



IOTA contest 参加メモ

Callsign : JA3AOP
 Multi-Op, All-band, Low-power,
 Mixed-mode,
 TRX: IC756pro3, FT1000MPmk5
 ANT: 3.5/3.8=RDP, 7=2el.HB9CV,
 14/21/28=SteppIR 4el. & 3el.
 QTH : IOTAAS-117 (AWAJI-city)
 Operators : JA3AER, JA3PYC,
 JJ3TBB, JA3AOP

IOTA contest ではマルチ局はランニング1 TX, ニューマルチを得るときのみ他のバンドでもう1台のTXの送信ができる。

JI3ZAG 大阪国際交流センター・ラジオクラブ
 では会員を募集しています。アマチュア無線を通じての国際交流活動を志す方の参加を歓迎します。

連絡先 e-mail: ji3zag@ja3.net

Rollcall

Every Saturday 00:00UTC @14.155MHz

Monthly meeting

On the 2nd Friday of each month